

神奈川県議会議員

# わき 脇れい子



だれひとり取り残さない ともに生きる神奈川へ

## コロナ禍からコロナ後の社会を見据えて

新型コロナウイルスの感染者が急増し、5月中旬の感染者数を超えています。私たちの制約のある生活は、昨年の緊急事態宣言以後、1年3か月以上も続いています。海外から入国するオリンピック選手や関係者の感染も増えており、オリンピック開催に大いに疑問があります。ワクチン接種も、ワクチンの供給が追いつかず、思う通りの接種が進んでいません。県民のくらしの安全、安心をしっかりと守ることが、大原則です。

感染防止対策と医療支援、生活者・事業者支援を集中的に行い、感染を封じ込め、通常に近い生活・経済活動を早期に取り戻す、立憲民主党の「ZEROコロナ」戦略の実現を目指します。

そして、コロナ後の社会を見据え、コロナ禍で可視化、顕在化された様々な課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思えます。県議会議員任期の後半を迎えました。今年度も皆さまの声をしっかりと聞きし、気を引き締めて議会活動を行ってまいります。ご指導ご鞭撻、よろしくお願いいたします。

### 建設・企業常任委員会報告

7月1日からの大雨により、3日の午前、熱海市で土石流災害が発生、違法な盛り土が問題視されました。神奈川県内の盛り土の安全性が確保されているのか、規制や基準、施工状況の確認など、質疑を行いました。

本県においては、盛り土を施工するためには、「土砂の適正処理に関する条例」に基づき申請後、土砂流出防止等の安全基準に基づき、事前審査を行い許可がされ、許可行為が完了した際にも適正な施工の確認が現地で行われていることを確認しました。しかし、県内の盛り土について、この際しっかりと調査をすべきだと指摘をさせていただきました。委員会翌日の知事定例会見で、今回の熱海の災害を踏まえて、県民の安全確保のために、現在盛り土造成中の22か所について現地調査を行うことを発表。その後7月15日に異常はなかったとの報告がありました。造成中の箇所だけでなく、県の条例に基づき盛り土施工済みの箇所もきちんと調査をし、報告をするよう要望致しました。



### 共生社会推進特別委員会の副委員長として 津久井やまゆり園の開所式に出席

県の指定管理施設である津久井やまゆり園で、同園の元職員が、施設の利用者19人を刺殺、入所者・職員27人に重軽傷を負わせた事件から5年。新築・改修工事が完了し、県主催の開所式が7月4日、園内で開かれ、出席しました。

地域移行などにより、定員は66人。1ユニット11人で、居室はすべて個室となっています。安全対策と地域交流を両立させるために、居住ゾーンと交流ゾーンに分けられており、防犯カメラ、赤外線センサー、防犯ガラス、電気錠、防犯ブザーなどの対策もとられています。

障がいのある無しにかかわらず、誰もが、自分らしく尊厳をもって暮らせる、地域共生社会の実現をしっかりと進めて行かなければなりません。



# 神奈川県議会 第2回定例会報告

5月17日から7月13日まで、会期58日間で第2回定例会が開催され、全ての議案を可決し終了しました。その間、県内のまん延防止等重点措置区域の変更などで、総額2400億円を超える補正予算の審議を6回にわたり行い、日曜日の本会議開催や深夜に及ぶ審議を経て可決してきました。

また、今回の定例会では、会派の一員として一般質問も行いました。



6月25日

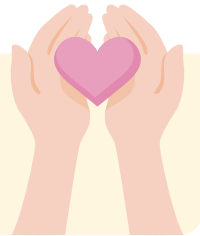
一般質問を行いました

## かながわ男女共同参画センター(かなテラス)の今後の展開について



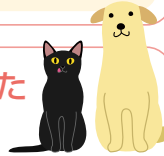
かながわ男女共同参画センターにおいて、コロナ禍で顕在化、可視化された課題を踏まえ、コロナ後も見据え、男女共同参画社会の実現に向けてどのように取り組んでいくのか、見解を伺いたい。

## 予期せぬ妊娠をした若年妊婦への支援について



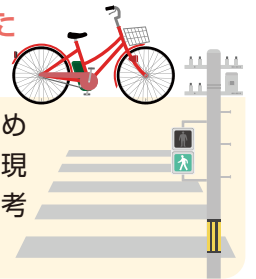
予期せぬ妊娠をした若年妊婦に対するアウトリーチ型の支援に向けて、県はどのように取り組んでいくのか、所見を伺いたい。

## 動物愛護管理法の改正を踏まえた動物取扱業への指導について



動物愛護管理法の改正を受けて、今後、動物取扱業者に数値規制を始めとした新たな基準を遵守させるため、県としてどのように取り組むのか、見解を伺いたい。

## 自転車の安全走行に向けた県の取組について



自転車による事故防止を図るために、自転車保険加入促進を含め、現状の取組以上に強化するべきと考えますが、見解を伺いたい。

## 東京2020大会・セーリング競技の円滑な開催について



セーリング競技の開催に向けて、新型コロナウイルス感染症対策はもちろんのこと、自然災害を含め、あらゆる不測の事態への対応についてどのように取り組んでいくのか、所見を伺いたい。

## 県立高校等のオンラインを活用した授業の推進について



県立高校等における、オンラインを活用した授業などのICT機器等の活用をさらに推進していくため、各学校に対する支援をどのように進めていくのか、所見を伺いたい。

## 35人学級に伴う小学校教員の確保について



県教育委員会として、神奈川の教員の魅力のPRや、採用後に定着してもらうための取組など、小学校の教員の確保にどのように取り組んでいくのか、所見を伺いたい。

質疑のやり取りは  
神奈川県議会  
インターネット  
議会中継(録画映像)  
をご覧ください。



立憲民主党・民権クラブ 県議団

【経歴】

【所属委員会】

神奈川県議会議員  
**脇れい子**

1957年辻堂生まれ 藤沢市立高砂小学校卒  
藤沢市立湘洋中学校卒 神奈川県立平塚江南高等学校卒  
日本女子大学文学部卒  
藤沢市議会議員2011年より2期

建設・企業常任委員会  
共生社会推進特別委員会 副委員長  
予算委員会

皆様からのご意見・ご相談を是非お寄せ下さい。

立憲民主党・民権クラブ藤沢市政務活動事務所

〒251-0026 藤沢市鵠沼東4-6 藤沢奥田ビル203

TEL: 0466-90-4737 FAX: 0466-90-4740

Email: wakireiko.office@gmail.com